



KBC 九州朝日放送
PRESS RELEASE



2023年1月4日

九州朝日放送 総合編成局総合編成部

視聴率速報

2022年間 個人・世帯 単独2冠!!

九州朝日放送（KBC／本社：福岡市中央区長浜 代表取締役社長 和氣 靖）は、
2022年間（2022年1月3日～2023年1月1日）北部九州地区において、個人
全体視聴率、世帯視聴率の全日、ノンプライム帯で単独2冠を獲得しました。各時間帯の
平均視聴率は以下の通りです。

■個人全体視聴率 2冠 * 3年連続

06時～24時	「全日」	4.1%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	5.9%	2位
19時～23時	「プライム」	6.0%	2位
23時～25時	「プライムⅡ」	2.4%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	3.6%	1位

* ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

■世帯視聴率 2冠 * 全日帯含む2冠以上は7年連続

06時～24時	「全日」	7.4%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	10.1%	2位
19時～23時	「プライム」	10.3%	2位
23時～25時	「プライムⅡ」	4.5%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	6.6%	1位

* ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

ゴールデン・プライム帯では「報道ステーション」(7.0%)が同時時間帯1位の高視聴率を獲得し、連続ドラマでは「刑事7人」(6.8%)「木曜ドラマ・六本木クラス」(6.7%)「相棒」(8.1%)「木曜ドラマ・ザ・トラベルナース」(7.1%)が堅調な視聴率をマークしました。また、バラエティ番組では「ナニコレ珍百景」(7.2%)が同時時間帯2位、「ポツンと一軒家」(10.0%)が同時時間帯1位を獲得するなど、日曜ゴールデン帯2番組が好調をキープしているほか、「くりいむクイズミラクル9」(6.5%)、「ザワつく!金曜日」(6.6%)も同時時間帯1位を獲得し、水曜と金曜のゴールデン帯番組も好結果を残しました。全日帯ではKBC自社制作番組の「アサデス。KBC」(PART1/4.6%・PART2/8.2%)が同時時間帯1位を獲得。また後枠の「羽鳥慎一モーニングショー」(5.7%)も同時時間帯1位をマークするなど、好調な平日午前帯が全日帯を牽引しました。日曜正午に放送中の旅バラエティ番組「前川清の笑顔まんてんタビ好き」(5.8%)、女性お笑いグループ“ぼる塾”が出演する木曜の深夜番組「ぼる部屋」(1.8%)も同時時間帯1位を獲得。KBC制作の週1バラエティ番組も視聴者からの支持を得ています。

【写真】「アサデス。KBC」(左)宮本啓丞アナウンサー (右)徳永玲子

